Business Mathematics ビジネス数学

ビジネスセンス強化セミナー

共催：オルデナール・コンサルティング合同会社

ビジネスで使える統計ミニセミナー

日 時　2019年12月12日(木) 9：30 ～ 12：40《お申込締切日：12月10日(火)》

会 場　文昌堂ビル 10階 会議室
東京都台東区上野 5-1-1　文昌堂ビル 10階
JR 山手線・京浜東北線・総武線「秋葉原」駅　中央改札口より昭和通り沿いを御徒町方面へ 徒歩 6 分
東京メトロ銀座線「末広町」駅より蔵前方面へ 徒歩 6 分

受講料　12,000円（税込）

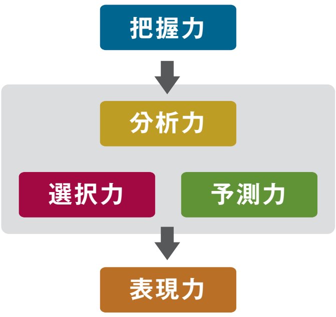
講 師　長谷川 正恒（はせがわ まさのぶ）　ビジネス数学インストラクター　オルデナール・コンサルティング代表

受講対象
・経営者、人事ご担当者
・部門にて教育研修導入をお考えの方
※研修内容は統計手法の基礎を学びたい若手中堅社員を対象としております

定 員　25人（最小開催人数：6人）
定員になり次第、締め切ります。

「ビジネスに必要な 5 つの力」とは

ビジネスシーンにおいて必要とされる数学力は、大きく 5 つに分けられます。物事の状況や特徴をつかむ「把握力」、規則性や変化、相関などを見抜く「分析力」、いくつかの事象から最適な解を選ぶ「選択力」、過去のデータから未来を見通す「予測力」、情報を正確に伝える「表現力」です。これらの力は、ビジネスシーンの至るところで求められます。



セミナーのねらい

❶ ビジネスシーンで役立つ「統計の基礎」を理解する

統計データは眺めているだけでは単なる数字の羅列にすぎません。統計データをきちんと読み取るには「数値」と「ばらつき」の 2 つに着目し、「平均値」「中央値」「標準偏差」などの基本統計量を読み取る必要があるのです。まずは基本統計量の求め方・読み方について確認しましょう。

❷ データを「読む力」と「伝える力」が向上する

統計データから得た情報はビジネスに活用できて初めて意味を持ちます。しかし、統計情報を数値のまま伝えても、意図した内容が伝わらないことが多いのです。情報を効果的に伝えるためには、図表やグラフを適切に活用することが必須です。本セミナーでは、統計情報を伝えるための効果的なグラフを使い方を学びます。

❸ 使用頻度の高い分析手法を身につける

統計データを正しく分析するには、知りたい内容に合わせて適切な分析手法を選ぶ必要があります。分析手法は数多く存在しますがデータ分析の専門家でもない限り、通常の業務で使用する分析手法はそれほど多くありません。本セミナーでは通常の業務でもよく使われる分析手法である「相関」と「単回帰分析」の活用方法について学びます。

プログラム

Step1 (9：30 ～ 10：10)	Step2 (10：10 ～ 10：50)	Step3 (11：00 ～ 11：40)	Step4 (11：40 ～ 12：40)
データを読む：基本統計量の意味と使いどころのポイントを学び、Microsoft Excel® を用いて求める方法を身につける。	**情報を伝える**：「棒グラフ」「折れ線グラフ」「円グラフ」の使いわけを学び、目的に合わせて Microsoft Excel® でグラフを作成する方法を身につける。	**よく使う分析**：広く活用できる基本的な分析手法である「相関」等について学び、Microsoft Excel® を使った分析の方法を身につける。	**実践演習**：Step3 までに身につけた知識・手法を、実際のビジネスデータに活用し、統計データを処理するポイントをつかむ。